

柳大使のUNOPS事業開始式への出席

7月23日、UNOPS(国連プロジェクトサービス)が実施する事業「王立医療サービス(Royal Medical Service)の運営能力強化を通じた医療サービスの改善」の開始式が開催され、柳大使が出席しました。式典において、柳大使は、タミミ王立医療センター長(Major General Dr. Shawkat Tamimi)、アクラムUNOPSヨルダン事務所代表(Mr. Muhammad Usman Akram)とともに、スピーチを行いました。その後、本件プロジェクトでの改修を予定しているキング・フセイン医療センターの婦人科病棟を視察し、王立医療サービス及びUNOPS関係者とヨルダン医療分野における王立医療サービスの貢献等について懇談を行いました。

我が国は、平成30年度補正予算により、ヨルダンにおけるUNOPS事業に対し、約357万ドルの支援を実施しており、今後キング・フセイン医療センターの改修及び医療機材や救急車の調達等が予定されています。王立医療サービス(RMS)及びUNOPSの式典参加者より、我が国の支援に対し、謝意が表されました。



王立医療センター長、UNOPS代表との記念撮影



キング・フセイン医療センター内の視察